

# 編修趣意書

## 教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-109	小学校	国語科	国語	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 113 / 国語 114	こくご一上 かざぐるま / こくご一下 ともだち		

## ▶ 1. 編修の基本方針

# 言葉が広げる、子どもたちの世界

考えるとき、誰かと何かを伝え合うとき、そこには言葉があります。確かで豊かな言葉の力を身につけること。それが、子どもたちが他者と協働しながらよりよく生きていくうえでの支えになります。社会がどのように変化しようとも、言葉の大切さ、言葉のもつ力は変わらない。私たちは、自らの世界を豊かにしていくための言葉の力を子どもたちに育めるよう、この教科書を編修しました。



## 確かな言葉の力を育む

— どんな学習を通して、どんな言葉の力をつけるのかが分かる教科書です。

...

1年生の教科書を、基礎・基本を学ぶ場と考え、幼児期に経験したことや培ってきた言葉の力を、国語学習につなげられるようにしました。さまざまな教材に主体的に取り組むことで、言葉の力の基礎をつくります。



## 自ら学ぼうとする姿勢を育む

— 課題意識・目的意識をもち、意欲的に学習に取り組むことができる教科書です。

...

子どもたちの「やってみたい」「考えてみたい」という意欲を喚起する学習活動を設定するとともに、学習の中で子どもたち自身が気づきを得て、達成感や、学ぶことの楽しさを味わうことができるようにしました。



## 今日の学びを、明日につなぐ

— 国語で学んだことを、他教科や生活にいかす力を育てる教科書です。

...

学んだことを、国語の学習だけに閉じることなく、他教科等や日常生活にいかしていくことで、生きる力につなげるようにしました。また、生涯にわたって読書に親しむ態度や習慣を身につけ、学び続ける主体を育てます。

特色

1

# 確かな言葉の力を育む

— どんな学習を通して、どんな言葉の力をつけるのかが分かる教科書です。



「さあはじめよう」「ことばのたいそう」

楽しい活動の積み重ねが、大きな力に。

## さあはじめよう

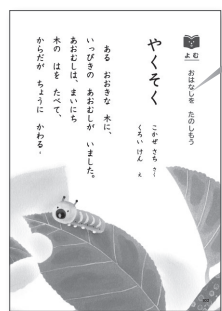
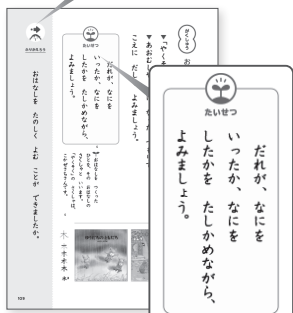
- 幼稚園や保育所等で培ってきた言葉の力や経験をいっかしながら取り組める、六つの教材を用意しました。子どもたちの、学ぶことへの意欲に応える、楽しい学習を通して、言葉の力の基礎をつくります。

## ことばのたいそう

- 年間3か所に、「音読」「対話」「語彙」に特化した教材を設けました。詩の音読を通して日本語の語感やリズムにふれたり、友達と対話しながら「聞く」力をつけたり、言葉遊びを楽しむ中で語彙を豊かにしたりします。
- 国語学習の最初や、朝の時間などの短時間学習としても用いることができます。継続的に取り組むことで、6年間の言葉の力の土台を築きます。



1上 「ことばのたいそう」



「読むこと」の冒頭・がくしゅう(手引き)



よむ おはなしを たのしもう



単元名・ふりかえろう・たいせつ

めあてと、身につける力が分かります。

- 1年生2学期以降では、学習のめあてを単元名に示しました。また、「ふりかえろう」を1年生にも設け、どんな学習に取り組み、どんなことができるようになったか、学びの自覚化を促していきます。
- 「たいせつ」では、その学習で身につけた言葉の力を確かめられるようにしました。

特色

2

# 自ら学ぼうとする姿勢を育む

— 課題意識・目的意識をもち、意欲的に学習に取り組むことができる教科書です。



「はるがきた」

言葉で伝え合う楽しさと喜びがいっぱいです。

- 第一教材「はるがきた」は、白い大きな紙に、子どもたちが絵を描く場面から始まります。絵の中の子どもに自分を重ねたり、自分が絵の中の人物だったらと想像したりしながら、見つけたものや想像したことを友達と伝え合うことを通して、言葉でつながる楽しさを味わいます。
- どの子どもが安心して言葉を発し、個性と多様性を受け止め合える教室づくりにも寄与します。

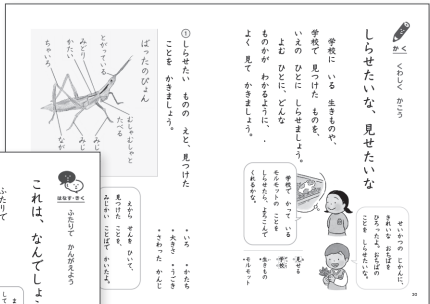


1上「はるがきた」

✓ 話題・題材の選定

「やってみたい」題材にあふれています。

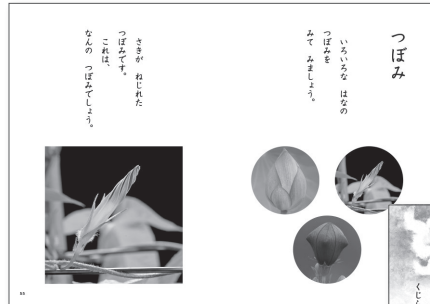
・「生活」「図工」「道徳」など、他教科等との関連が図れる話題・題材を幅広く選定しました。また、学校生活や日常生活からも題材を集め、子どもたちが必然性をもって臨んだり、「やってみたい」と意欲的に取り組んだりできるようにしました。



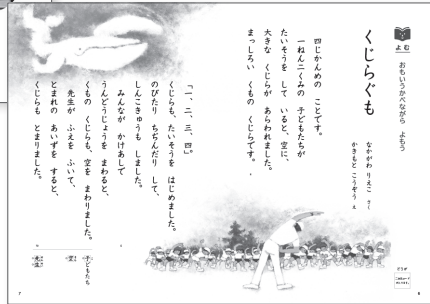
1下「しらせたいな、見せたいな」



1下「これは、なんでしょう」



1上「つぼみ」  
(説明的な文章)



1下「くじらぐも」  
(文学)

・「読むこと」では、豊かな感性を養うことのできる文学作品や、論理的思考力の基礎・基本となる、確かな構成の説明的な文章を位置づけました。どれも、子どもたちの「読んでみたい」「もっと読みたい」という気持ちをかき立て、読んだ後には思わず語り合いたくなる文章・作品です。

特色

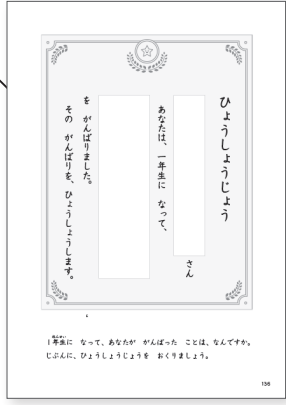
3 今日の学びを、明日につなぐ

— 国語で学んだことを、他教科や生活にいかす力を育てる教科書です。

✓ 「ひょうしょうじょう」

自らの成長に気づき、学ぶことの意義を味わいます。

・学年末に、1年生の国語学習を振り返って、がんばったことを確かめる場を設けました。  
・自らの成長を実感することで、次の学年の国語学習への意欲とともに、学んだことを国語以外の学習や日常生活にいかす意識をもたせるようにしました。これらによって、国語を学ぶ意義を自分なりに考えることが期待されます。



1下  
「ひょうしょうじょう」

✓ 「ほんはともだち」

読書に親しむ習慣や態度を育みます。

・年間3か所に、読書単元を設けました。  
・日常的な図書館利用を促し、読みたい本を見つける方法や知りたいことを知るための方法を身につけるとともに、読みたい本・必要な本を思い描く力を高めます。  
・また、読書によって生活を豊かにしようという意欲を引き出すことも目指しました。



1上「としよかんへいこう」

## ▶ 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
上巻	第一教材	・第一教材「はるが きた」で、ものを生み出す喜びや、広い世界に飛び出す感動を味わい、見つけたものや想像したことを言葉にして伝え合うことを通して、想像力や他者と関わる心を育てます。【第一号】【第三号】	表2-8
	スタートブック	・スタートブック「さあ はじめよう」の教材群を通して、幼稚園や保育所等での体験的な学びや遊びの経験を、小学校での国語・言葉の「学習」へと円滑に接続します。【第一号】	9-23
	継続活動	・短時間での継続的な取り組みに活用できる教材「ことばの たいそう」を位置づけました。音読や対話、言葉遊びを通して、想像を広げたり、他者と関わったり、語彙を広げたりすることの楽しさを感じることができます。【第一号】	24-29, 96-101
	言葉の特徴や使い方	・言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記の決まりなどを知り、身につけることができます。【第一号】	40-41,44-45, 48-49,50-53, 62-63,78-79, 110-111, 118-121
	情報の扱い方	・海の生き物に関する説明文「うみの かくれんぼ」を、事柄がどのような順序で説明されているのかを捉えながら読むことを通して、論理的に考える力を育てます。【第一号】	112-117
	我が国の言語文化	・「としょかんへ いこう」「としょかんと なかよし」で図書館を活用する際の注意点を知らせ、公共心を育てるとともに、図書館を活用しようとする態度を育てます。【第三号】	38-39, 94-95
	話すこと・聞くこと	・因果関係を論理的に話す「わけを はなそう」や、他者からの質問によって伝えたいことをはっきりさせ、みんなに伝える「すきな こと、なかに」を通して、自他を尊重する心を育てます。【第三号】	46-47, 80-83
	書くこと	・主語と述語の整った一文を書く「ぶんを つくろう」を通して、文の基本的な構造を学びます。【第一号】 ・植物の観察記録を書く「おおきく なった」、好きなことを紹介する「すきな こと、なかに」、体験を伝える「こんな ことが あったよ」を通して、生命や自然を愛する心や、他者を理解し互いに尊重し合う心を育てます。【第二号】【第三号】【第四号】	42-43,64-65, 80-83,92-93
	読むこと（説明的な文章）	・植物の花の特徴を取り上げた「つばみ」や、「うみの かくれんぼ」を通して、科学的なものの見方や論理性、生命・自然を大切にすることを育てます。【第一号】【第四号】	54-61, 112-117
	読むこと（文学的な文章）	・登場人物の行動と季節の移ろいを楽しめる「はなの みち」や、登場人物たちが広い世界を知る「やくそく」を読むことを通して、豊かな情操を育みます。【第一号】 ・民話「おおきな かぶ」や昔話「おむすび ころりん」を音読したり動作化したりすることを通して、我が国の文化を愛する心や、他国の文化に親しみをもつ心を育てます。【第五号】	30-37,66-77, 84-91,102-109
付録	・本編の学習と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。【第一号】	122-132	
下巻	継続活動	・短時間での継続的な取り組みに活用できる教材「ことばの たいそう」を位置づけました。音読や対話、言葉遊びを通して、想像を広げたり、他者と関わったり、語彙を広げたりすることの楽しさを感じることができます。【第一号】	74-79
	言葉の特徴や使い方	・言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記の決まりなどを知り、身につけることができます。また、言葉に関する特設単元「ものの 名まえ」を通して、上位語・下位語の概念を知り、適切に言葉を用いる態度を育てます。【第一号】	19,24-27, 38-39,56-57, 90-95,98-99, 100-103, 120-121
	情報の扱い方	・説明文「じどう車くらべ」や書くこと教材「じどう車ずかんをつくろう」で、事柄の順序に気をつけて読んだり書いたりしたり、説明文「どうぶつの 赤ちゃん」で取り上げられているものの共通点や相違点を考えたりすることによって、論理的に考える力を育てます。【第一号】	30-34, 35-37, 80-89
	我が国の言語文化	・早口言葉などを取り上げた「ことばを たのしもう」や、日本の昔話「わらしべちょうじゃ」を通して、我が国の文化を愛する心を育てます。【第五号】	28-29, 96-97
	我が国の言語文化	・外国の昔話を取り上げた「むかしばなしを よもう」「おかゆの おなべ」を通して、他国の文化に親しみをもつ心を育てます。【第五号】	60-73
	話すこと・聞くこと	・絵を見ながら対話して物語を考える「どんな おはなしが できるかな」や、友達と協力してクイズを作る「これは、なんでしょう」を通して、他者と協力する態度を育てます。【第三号】	40-43, 104-107
	書くこと	・生き物などの観察記録を書く「しらせたいな、見せたいな」、身近な自動車の作りと働きについて説明する「じどう車ずかんをつくろう」、経験や思い出を書く「いい こと いっぱい、一年生」を通して、個人の尊重や自主・自律の心、生活と関連させる態度を育てます。【第二号】 ・絵を見て対話しながら考えた物語を書く「どんな おはなしが できるかな」や、自分の近況などを伝える手紙を書く「てがみで しらせよう」を通して、他者を敬う心を育てます。【第三号】	20-23,35-37, 40-43,58-59, 122-125
	読むこと（説明的な文章）	・自動車の作りと働きについて説明した「じどう車くらべ」を読むことを通して、科学的なものの見方や論理性を育むとともに、自分たちの生活と重ねながら文章を読む態度を育てます。【第二号】 ・肉食動物と草食動物の赤ちゃんとその成長について書かれた「どうぶつの 赤ちゃん」を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを育てます。【第四号】	30-34, 80-89
	読むこと（文学的な文章）	・雲のくじらと子どもたちの物語「くじらぐも」や、犬と少年の成長を描いた「ずうっと、ずっと、大すぎだよ」を読むことを通して、豊かな情操を育むとともに、生命を尊重する態度を育てます。【第一号】【第四号】 ・民話「たぬきの 糸車」を読むことを通して、我が国の文化を愛する心を育てます。【第五号】	6-18, 44-55, 108-119
	付録	・本編の学習と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。また、「ひょうしょうじょう」を設け、自らの1年間の成長を実感できるようにしました。【第一号】【第二号】	126-140

### ▶ 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

アニメーション  
(1上「はなの みち」)



#### 学習上の参考に供するための資料

- ・教科書の中で、「二次元コード (QR コード)」が示された箇所には、発表や話し合いなどの動画資料、作家へのインタビューなど、児童の興味・関心を高めたり、学習を深めたりすることができる資料を豊富に収めました。
- ・また、「ことば」の教材の二次元コードには、子どもたちが特につまずきやすい文字表記等を中心に、学校や家庭学習で取り組むことができるワークを用意しました。
- ・教科書の裏表紙に付した二次元コードには、ICT 機器の活用の際に留意することのほか、感染症対策、防災、SDGs、外国人児童等のための学校で使う日本語等に関するコンテンツを用意し、学校生活や学習に資するようにはしました。



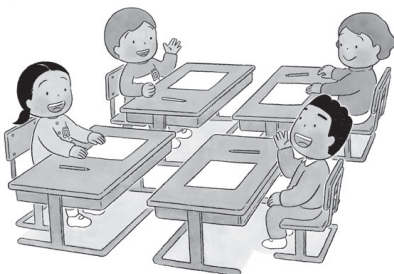
対話の様子 (1上「すきな こと、なあと」)

#### 語彙を豊かに広げていくための工夫

- ・1 年下巻以降の各巻巻末に、思考や表現の助けとなるよう、その学年に応じた語彙を、「ことばのたからばこ」として提示しました。



1下「ことばの たからばこ」



全ての児童に使いやすく、分かりやすく。

#### 特別支援教育への配慮

- ・ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての児童に使いやすい教科書を目ざしました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

#### 色覚特性への配慮

- ・学習上、複数の情報の識別が必要な図版については、色の組み合わせや色調に配慮しました。また、色だけでなく、形でも区別できるようにするとともに、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるように配慮しました。

#### 書体に関する配慮

- ・本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の教科書体を用いています。この書体は、読みやすいだけでなく、書き文字に近い形、子どもたちに正しい字形を意識させることができます。
- ・文字の形を意識して読み、物事を理解する部分が多い低学年では、書体を通常より太くした教科書体を使用し、見やすさを重視しました。
- ・見出しなどの着目させたい箇所や、「『たいせつ』のまとめ」などの文字の小さな箇所には、UD 書体を使用しています。

#### 人権上の配慮

- ・教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物に、性別等による偏りがないようにしました。また、人種・身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。

# 編修趣意書

## 学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-109	小学校	国語科	国語	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 113 / 国語 114	こくご一上 かぎぐるま / こくご一下 ともだち		

### ▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

## 特色 1 確かな言葉の力を育む

— どんな学習を通して、どんな言葉の力をつけるのかが分かる教科書です。

### ✓ スタートブック「さあ はじめよう」

### みんなで学ぶ楽しさとともに、国語の学びの土台をつくる4月の6教材。

- ・ 幼稚園や保育所等での遊びや生活、学びの経験をいかしながら、子どもが主体的に取り組めるよう配慮しました。
- ・ 幼保小の架け橋期のスタートカリキュラムとして、子どもたちの意欲や多様性を受け止め、4月の学校生活に密着した楽しい教材で、6年間の学習の基礎づくりを行います。
- ・ 発達の特性を踏まえ、生活科との合科的・関連的な学習や、短時間での学習を積み重ねられるよう構成しています。

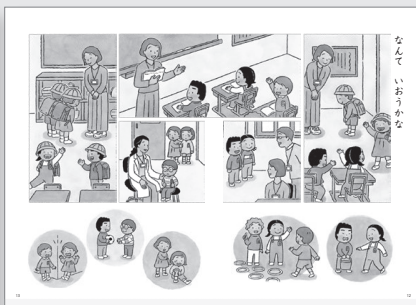
- ①【読むことの基礎】「おはなし ききたいな」読み聞かせを楽しむ
- ②【話すこと・聞くことの基礎】「なんていおうかな」学校生活での話し方・聞き方
- ③【書くことの基礎】「かくこと たのしいな」運筆と文字学習
- ④【文字を使って伝え合う】  
「どうぞよろしく」名刺カードを作る自己紹介活動
- ⑤【互いの気づきを伝え合う】  
「こんなもの みつけたよ」学校探検の報告活動
- ⑥【唱え歌で言葉と文字に親しむ】  
「うたにあわせて あいうえお」口形、発声、文字の学習

#### ◆幼児期の言葉の学び

絵本や物語などに親しみながら、遊びや生活の中で思考と想像を働かせ、言葉で表現する楽しさや伝え合う喜びを味わう経験を重ねて、文字や言葉への関心や気づきをふくらませています。



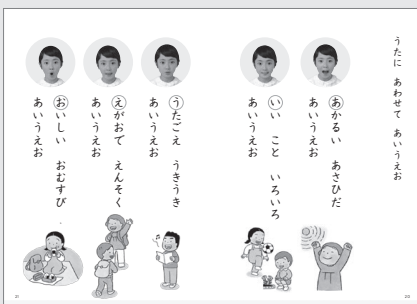
1上「かくこと たのしいな」



1上「なんていおうかな」



1上「おはなし ききたいな」



1上「うたにあわせて あいうえお」



1上「こんなもの みつけたよ」



1上「どうぞよろしく」

✓ 文字の確実な定着のために

発達段階に応じたきめ細かな配慮を。

平仮名習得期

- ・夏休み前までの期間の教材構成をスモールステップの形にすることで、無理なく平仮名を習得できるように配慮しています。思考力・判断力・表現力等の学習活動の中で、意味のある内容が書ける喜び、書いて読んでもらえる喜びを十分感じられるよう、漢字と片仮名を提出せず、平仮名で文を書く活動を積極的に位置づけました。また、つまづきやすい文字の表記等を扱う教材では、二次元コードのコンテンツとして補充的なワークを用意しました。

漢字学習への配慮

- ・低学年では、全ての音訓について、各教材中で提出されるごとに学べるようにしています。文脈の中で自然に学べるため、子どもたちの漢字学習の負担を減らします。また、新出漢字は各教材末に書き文字で示し、漢字を書く際の参考になるようにしています。

「思考力、判断力、表現力等」の教材

1年生から確実な言葉の力を身につけることを意図して、3領域の教材に「たいせつ」「ふりかえろう」を設けました。



「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

伝え合う楽しさを感じられるように

- ・子どもたちの発達段階、学習の習熟度、目的性、必然性を考慮して、多彩な言語活動を系統的に配置しています。子どもたちが主体的に楽しめるよう、親しみやすい、身近な場面から題材を選びました。
- ・絵や図などの多様なメディアを題材に、伝え合う活動を行う学習を、豊富に設定しました。



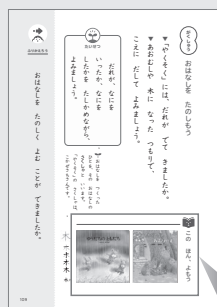
1上「わけをはなそう」



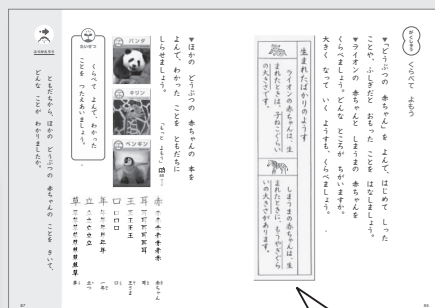
1下「どんなおはなしができるかな」



「読むこと」教材



1上「やくそく」(がくしゅう)



1下「どうぶつのおしゃん」(がくしゅう)



1年生から、図や表を使って情報を整理する学習を積み重ねます。

学んだ力の自覚を促す、新しい「がくしゅう」(手引き)

- ・「がくしゅう」(手引き)で設定した課題は、学習指導要領の「思考力、判断力、表現力等」の内容に沿って、国語の基礎・基本の力をつけるという観点を考慮し、繰り返し学習することで確実な定着を目指します。
- ・作品・文章は、読む楽しさを感じ、イメージを豊かに広げられる挿絵、写真とともに構成しています。
- ・「このほん、よもう」では、その学習で身につけた力をいかして読めるような図書を紹介しています。

特色

2

## 自ら学ぼうとする姿勢を育む

—— 課題意識・目的意識をもち、意欲的に学習に取り組むことができる教科書です。

✓ 安心して楽しく学べる空間に

一人一人に最適な言葉の学びを。

### 「はるが きた」

・絵の中から見つけたこと、感じたことを自由に言葉にしながら学びに出会う、アイスブレイクも兼ねた第一教材です。絵の中の子どもたちは個性にあふれ、自由に好きなものを描きながら、でも、一つの場を共有し、一つの世界を作っています。現実の子どもたちにも、多様な個性や関心に応じて、人や言葉と関わり、ともに学んでいってほしいという願いを込めています。

### 「ことばって、おもしろいな」

・言葉そのものを扱う教材こそ、遊びながら楽しく学べるようにしています。目的意識の明確な学習活動を通じて、言葉のおもしろさや大事さを実感できるようにしました。



1上「はるが きた」



1下「もの の 名まえ」

特色

3

## 今日の学びを、明日につなぐ

—— 国語で学んだことを、他教科や生活にいかす力を育てる教科書です。

✓ 他教科連携 各教科の学習や読書生活にいかす。

- ・生活科での体験的な学習をいかした言語活動や、書写との連携等を意図した学習活動をさまざまに設定しています。
- ・「よこがきの かきかた」(1上) や、「ことばの たからばこ」(1下) など、さまざまな学習活動で活用できる付録を用意しました。
- ・年間を通じて本に親しめるよう、図書紹介ページ「このほん、よもう」を、1上巻末にも新設し、紹介冊数を増やしました。

✓ 学年末のふりかえり 自分の成長の実感を。

### 「ひょうしょうじょう」

- ・生活科の成長単元とも関連させながら、4月に書いた自分の名前前の文字と見比べるなどして、一人一人のがんばりや成長を実感・称賛できるようにしたページです。コピーして、友達に向けて書き、交換し合うという活用方法もあります。

### 「『たいせつ』の まとめ」

- ・3領域の単元で学んできた「たいせつ」を、1ページにまとめています。1年生の学習を振り返る際に役立てられるようにしました。



1上「おおきくなった」(生活科との連携)



1上「うたにあわせてあいうえお」(書写との連携)



編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆教育基本法や学校教育法の理念を踏まえ、特に次の点に意をいたしました。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①国語力及び学習の基盤的能力の育成、②コミュニケーション能力の育成、③豊かな心の育成、④情報社会を生き抜く力の育成、⑤社会の変化に対応する能力の育成</li> </ul> </li> <li>◆学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点を工夫し配慮しました。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①基礎的・基本的な知識・技能と活用力を身につける、②論理的に思考し、判断し、表現する能力を養う、③豊かな情操と道徳心を養う、④伝統的な言語文化を尊重し、国語と郷土を愛する心を育成する、⑤個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主・自立の精神を養う、⑥読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基礎を養う、⑦社会の形成者たる児童を育成する</li> </ul> </li> </ul>
2 内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、また、言語活動例がそれぞれの段階で扱えるように教材を選定・作成しています。</li> <li>◆各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるよう、学年内・学年間を見通して系統的に位置づけています。</li> <li>◆児童の資質・能力の育成のために、教科横断的な関連を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、カリキュラム・マネジメントに資する内容構成の工夫をしています。</li> </ul>
3 配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆教科書全体を「単元」「コラム」「特設単元」で構成し、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」とを適切に組み合わせ、言葉の力を着実に身につけられるようにしています。</li> <li>◆学年の発達段階と学習の持続性を考慮し、単元数に配慮して構成しています。</li> <li>◆3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、単元・教材数・領域のバランスを工夫しています。</li> <li>◆各学年巻末に、本単元の補充学習・発展学習に資するよう、資料となる教材を掲載しています。</li> </ul>
4 教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、児童の学習意欲を喚起すること、また、社会の形成者としての児童を育成するよう、その道徳的心情や道徳的判断力が育つことに配慮して、内容・題材を選定しています。</li> <li>【入門期】幼稚園・保育所と小学校との円滑な連携を図るよう配慮し、児童が学校生活に慣れるとともに、学習意欲を大事にすることを考えて教材を選定しました。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一教材……小学校生活への不安をなくし、児童の気づきを引き出しながら明るく元氣な学習開きができるように、身近な世界から豊かな想像の世界へ展開していく5場面の美しい絵を用意しました。</li> <li>・スタートブック……幼稚園・保育所等での経験と小学校の学習をつなぐ場として「さあ はじめよう」を設定しました。国語学習の基盤作りを、六つの教材で確実にしています。</li> <li>・平仮名習得期……特に夏休み前までを「平仮名習得期」として数多くの言葉にふれる教材を位置づけ、段階を追って無理なく習得できるように配慮しています。</li> <li>・継続的な学習活動……年間3回、長期休暇明けに「ことばのたいそう」を設け、その後の学習にスムーズに取り組んでいけるよう、詩の音読、対話、言葉遊びといった基本的な学習活動をセットで位置づけ、短時間で行う継続的な学習を促しています。</li> <li>・児童の言語環境と発達段階に応じて、読むことに親しみ、内容を想像したり、自分の体験と結び付けて感想をもったりする学習を設定しています。言葉によるものの方見方・考え方を広げたり深めたりできる教材を読み、分かったことや考えたことを共有する場を数多く設けました。</li> <li>・学習の手引きには、国語の基礎・基本の力をつける観点から、設問を厳選しています。</li> <li>・確実な国語の力の獲得のために、身につける力を確認する場「たいせつ」と、単元全体を振り返る場「ふりかえろう」を設けました。</li> </ul> </li> <li>【話すこと・聞くこと】児童の日常生活、学校生活、学習場面に取材し、「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるように、発達段階に即して題材を選んでいます。また、学習活動からその後の振り返りの場に至るまで、意図的・計画的に設定しています。</li> <li>【書くこと】相手と目的の明確な話題・題材と児童がイメージしやすい場を設定することで、書く必要性と必然性を感じ、書く意欲が喚起されるよう工夫しています。また、取材から記述までの表現過程とその後の交流までを具体的に図示するなど、分かりやすく示しています。</li> <li>【読むこと】児童の言語環境と発達段階に応じて、言葉の美しさが感得できる教材、家族や友人など他者への思いやりを育てる教材、他教科の内容に関連する教材、ものの方見方・考え方を広げたり深めたりできる教材などを幅広く選定しています。</li> <li>【言葉の特徴や使い方に関する事項】児童の言語生活や既習教材から素材を取り上げ、学習活動を通して言語や漢字についての知識を楽しみ身につけるとともに、言葉に対する興味・関心が深まるよう、教材化を工夫しています。また、各学年に言葉そのものを対象化して考える教材を位置づけ、児童が言葉の自覚的な使い手として育つよう配慮しています。</li> <li>【情報の扱い方に関する事項】物語や文章の内容から、共通・相違の関係を理解したり、事柄の順序関係を理解したりできるよう、内容を構成しています。</li> <li>【我が国の言語文化に関する事項】先人の遺産としての言語作品を多く取り上げ、生涯の宝として身につけられるようにしました。</li> </ul>
5 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆話題・題材は、農山漁村・都市などの地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスの取れた構成になっています。</li> <li>◆1年下巻以降は、複式学級での使用を見据え、前後の学年である程度学習時期を揃えられるように、単元構成上の配慮をしています。</li> </ul>
6 他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆カリキュラム・マネジメントの観点から、他教科などとの関連を図るように、話題・題材の選定において工夫しています。</li> <li>【生活】「さあ はじめよう」の題材、「つぼみ」(1年上)、1・2年の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材、「きせつのことば」(2年)</li> <li>【図画工作】「おもちゃの作り方をせつめいしよう」(2年下)</li> <li>◆学習活動面においても、他教科の学習で活用できるよう配慮しています。観察記録文を書く(1年上)</li> </ul>
7 情報活用・ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「二次元コード」が示してある場所には、児童が学習を進めるうえで参考となり、さらに興味・関心をもって学べる資料を収めています。</li> <li>◆特に3年以上では、写真を使って報告文を書いたり、スピーチの練習を撮影したりする学習活動を取り入れるなど、必然性をもってICT機器を活用してその活用能力を育めるよう配慮しています。</li> </ul>
8 文字提出・表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1年では、6月中旬までに平仮名を全て提出し、夏休み前までは習熟を図る期間(「平仮名習得期」として)としています。漢字・片仮名は9月から提出することで、無理なく学習できるように配慮しています。</li> <li>◆漢字学習は、言葉の学習であると捉え、前学年漢字及び各学年配当漢字を全て本文中に提出しています。</li> <li>◆新出漢字は当該ページ欄外に語として抽出し、読みの負担を軽減しています。また、1教材での提出数を制限し、過重な負担とならないよう配慮しています。</li> <li>◆文中に平仮名が多い2年までは、分ち書きを採用しています。ただし、第2学年中に徐々に通常の文章に読み慣れるよう、「文節による分ち書き—2・3文節まとめた分ち書き—通常の分ちのない書き方」へと段階的に移行しています。</li> </ul>
9 挿絵・写真・図・グラフなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習内容の理解を助け、児童のイメージを豊かに広げる挿絵・写真を適所に掲げています。また、点字見本のページ(5年)のように、実際に触れて参考にする資料もつけています。</li> <li>◆「話す・聞く」「書く」教材や、「読む」教材の手引きなどに、種々の表やマップを配したほか、巻末折り込み付録「図を使って考えよう」(2年上以降)を設け、児童が考えを形成したりまとめる技法として活用できるように工夫しています。</li> </ul>
10 製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するために、支援を必要とする児童が判別しやすい配色・色調に配慮しています。</li> <li>◆原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。</li> <li>◆本文には、教科書のために特にデザインした自作作成の教科書体を用いています。読みやすいだけでなく、書き文字に近いため、正しい字形を意識させることができ、文字指導に効果的です。</li> <li>◆特に1・2年では、字形を追って一字一字を確かめながら学習を進める段階であることに配慮し、通常よりも太く読みやすい書体を使用しています。</li> <li>◆巻末付録の「たいせつ」の「まごめ」(1年下以降)、「本の世界を広げよう」「学習に用いる言葉」(2年上以降)では、教科書体に対応した読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。</li> </ul>
11 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習上支援が必要な児童のために、またユニバーサルデザインという観点から、特に以下の点に配慮しています。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報のまとまりが認識しやすいように、用語解説や覚えておきたい知識などはマークを付けて示す。</li> <li>・写真と写真の間を空けたり、線で囲んだりして、境界を明確に区別できるようにする。(1年上「うみのかくれんぼ」など)</li> <li>・色覚特性に配慮して、色による識別に頼ることなく、形で識別できるように作成する。また、色を問いとする学習活動を設定しない。</li> <li>・特に文字習得上の困難に配慮が必要な単元では、「二次元コード」コンテンツとして補充的なワークを用意する。</li> </ul> </li> </ul>
12 幼稚園・保育所との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校生活への不安をなくし、明るくスタートできるように、1年の第一教材においては、児童が友達や先生と交流する場面を取り上げました。続く、「さあ はじめよう」には、幼稚園・保育所等での体験をいかにしながら、小学校での学びの基本的な姿勢作りを行う教材を位置づけています。</li> </ul>
13 その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>【言語活動】つきたい力(指導事項)と言語活動を単元冒頭に掲げて、児童が目的をもって学習に臨めるようにし、習得と活用が滑らかに行えるよう課題を設定するとともに、ここで身につけた力や考えたことが他教科や日常生活でいかせるよう配慮しました。</li> <li>【学習過程の重視】「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、学習過程を明確にした教材を設定しました。</li> <li>【読書】読書に対する意欲を高め、読書の幅を広げ、読書を通して思考力や想像力を養うことを目指して、次のような工夫をしています。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設単元「本は友達」に、多様なジャンルの作品を位置づけました。</li> <li>・「読むこと」の手引き及び各巻末に、学年に適した本の紹介をまとめて、表紙写真とともに提示しました。</li> <li>・紹介する本は、人権教育の観点からも吟味し、選定しました。</li> </ul> </li> <li>【多様性・今日的課題への対応】特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの観点のほか、学習のユニバーサルデザイン、防災教育、外国人児童生徒等教育、人権教育などの観点から教科書全体の校閲を受け、それぞれ配慮を施しています。</li> </ul>

## ▶ 2. 対照表

### [ 第 1 学年 ]

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容				取り上げる題材についての観点	該当箇所	配当時間
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等					
			A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと			
上巻	はるが きた	(1) ア	(1) オ			(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	表2-8	2
	おはなし ききたいな	(3) エ			(1) オ (2) イ	(ア) 国語に対する関心	10-11	2
	なんて いおうかな	(1) キ	(1) ア・ウ (2) ア			(イ) 伝え合う力 (カ) 他人を思いやる心	12-13	2
	かくこと たのしいな	(1) ウ (3) ウ				(ア) 国語に対する関心	14-15	1
	どうぞ よろしく	(1) キ	(1) ア (2) ア	(1) ア		(ア) 国語に対する関心 (イ) 伝え合う力	16-17	3
	こんなもの みつけたよ	(1) キ	(1) ア (2) ア			(ア) 国語に対する関心 (イ) 伝え合う力	18-19	2
	うたに あわせて あいうえお	(1) イ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	20-23	2
	こえに だして よもう	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	24-25	1
	よくきいて、はなそう	(1) ア	(1) ウ・エ (2) ア			(イ) 伝え合う力	26-27	2
	ことばを さがそう	(1) オ (3) イ				(ア) 国語に対する関心	28-29	2
	はなの みち	(1) キ・ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	30-37	6
	としゃかんへ いこう	(3) エ				(ア) 国語に対する関心	38-39	2
	かきと かぎ	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	40-41	2
	ぶんをつくろう	(1) ウ・カ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	42-43	4
	ねこと ねっこ	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	44-45	2
	わけを はなそう	(1) ア	(1) ア・イ (2) ア			(イ) 論理的に物事を捉える力	46-47	2
	おばさんと おばあさん	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	48-49	2
	あいうえおで あそぼう	(1) イ・ウ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	50-53	3
	つぼみ	(1) カ・ク			(1) ア・ウ (2) ア	(イ) 科学的、論理的に物事を捉える力	54-61	8
	おもちゃとおもちゃ	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	62-63	2
	おおいくなった	(1) オ		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	64-65	4
	おおきな かぶ	(1) カ・ク			(1) イ・エ (2) イ	(イ) 言語感覚 (コ) 世界の風土の理解	66-77	6
	はをへをつかおう	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	78-79	3
	すきなこと、なあに	(1) ア・キ	(1) ア・イ (2) ア	(1) ウ (2) ア		(オ) 生活を明るくする意志	80-83	7
	おむすびころりん	(1) ク (3) ア			(1) イ (2) イ	(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解	84-91	5
	こんなことがあったよ	(1) ア		(1) ア・オ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	92-93	6
としゃかんと なかよし	(3) エ				(ア) 国語に対する関心	94-95	2	
こえをあわせて よもう	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	96-97	2	
みんなに しらせよう	(1) イ	(1) ウ・エ (2) ア			(イ) 伝え合う力	98-99	2	
ことばを みつけよう	(1) オ				(ア) 国語に対する関心	100-101	2	
やくそく	(1) カ・ク			(1) イ・エ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	102-109	8	
かたかなを みつけよう	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	110-111	2	
うみの かくれんぼ	(1) カ (2) ア			(1) ア・ウ (2) ア	(イ) 科学的、論理的に物事を捉える力	112-117	8	
かずと かんじ	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	118-121	4	
下巻	くじらぐも	(1) ウ・ク			(1) エ (2) イ	(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	6-18	8
	まちがいを なおそう	(1) ウ		(1) エ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	19	2
	しらせたいな、見せたいな	(1) ア・ウ		(1) ア・ウ (2) ア		(カ) 生命を尊重する心	20-23	10
	かん字のはなし	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	24-27	6
	ことばを たのしもう	(1) イ・ク (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	28-29	2
	じどう車くらべ	(2) ア			(1) ア・ウ (2) ア	(イ) 論理的に物事を捉える力	30-34	7
	じどう車ずかんをつくろう	(2) ア		(1) イ (2) ア		(イ) 論理的に物事を捉える力	35-37	5
	かたかなを かこう	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	38-39	2
	どんなおはなしができるかな	(1) ウ・カ	(1) エ・オ (2) イ	(1) オ (2) ウ		(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	40-43	6
	たぬきの 糸車	(1) カ・ク			(1) エ・オ (2) イ	(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解	44-55	8
	日づけと よう日	(1) エ・オ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	56-57	3
	てがみで しらせよう	(1) キ		(1) ウ・エ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	58-59	6
	むかしばなしを よもう	(3) エ		(1) ウ	(1) カ (2) イ	(コ) 世界の風土や文化などの理解	60-73	8
	おかゆのおなべ							
	なりきって よもう	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力	74-75	2
	くわしく きこう	(1) オ	(1) ア・エ (2) ア			(イ) 伝え合う力	76-77	2
	ことばで あそぼう	(1) オ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	78-79	2
	どうぶつのおちゃん	(2) ア (3) エ			(1) オ・カ (2) ウ	(イ) 科学的、論理的に物事を捉える力	80-89	10
	ものの名まえ	(1) ア・オ	(1) オ (2) イ			(ウ) 適切に判断する能力や態度	90-95	6
	わらしべちょうじゃ	(3) ア			(1) カ (2) イ	(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解	96-97	1
	かたかなのかたち	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	98-99	3
	ことばあそびをつくろう	(1) オ (3) イ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	100-103	6
	これは、なんででしょう	(2) ア	(1) ア・オ (2) イ			(ウ) 適切に判断する能力や態度	104-107	4
	ずうっと、ずっと、大すきだよ	(2) ア			(1) オ・カ (2) イ	(カ) 生命を尊重し、他人を思いやる心	108-119	8
	にている かん字	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	120-121	3
	いいこといっぱい、一年生	(1) キ		(1) ア・イ (2) ア		(オ) 生活を明るくし、強く生きる意志	122-125	10
					合計時間	243		